

第100回(2021年7月度)監査技術ゼミ 結果報告

運営委員長 菊谷 純
(文責: 松下 洋二)

1. 開催日時 2021年7月12日(月) 午後2時00分～午後5時00分
2. 開催方法・場所 ZOOMを利用したオンライン会議方式
講師は事務所より解説
司会(委員長)は自宅より進行
委員は自宅または職場にて参加およびオンライン会議のサポート
3. テーマ コロナ禍における働き方改革と監査役の役割
4. 講師 パリテ社会保険労務士事務所 特定社会保険労務士 佐藤 道子氏
5. 出席者 57名
6. 配布資料 (事前に参加予定者にメールで送付)
「監査懇話会監査技術ゼミ コロナ禍における働き方改革と監査役の役割
特定社会保険労務士 佐藤 道子」

7. 議事次第

1) 運営委員長より開会の挨拶

菊谷運営委員長よりオンライン参加者のZOOM接続状況を確認したのち、開会挨拶と本日のテーマ紹介を行い、講師の佐藤先生を紹介された。

なお出席者の内、旧独立委員会セミナーも含めて当ゼミへの初参加者は以下の通り。

日本冶金工業(株)	元監査役	飯盛(いさかり)孝夫氏
三井ホームエステート(株)	監査役	滝沢秀樹氏
(株)日本水工コンサルタント	監査役	田中和江氏
石油資源開発(株)	常勤監査役	中村光良氏
大成設備(株)	常勤監査役	南波裕樹氏

2) 講義

午後2時6分より3時1分まで、講師から資料に従って丁寧な解説がされた。10分間の休憩を挟み、3時37分まで引き続き資料に沿って解説がされた

3) 質疑応答および意見交換等

講義の後、5分間をチャット記入時間として、午後3時43分から4時58分まで出席会員会友との質疑応答が行われた。なお、質疑はZOOMのチャット機能に合わせて口頭での質疑も受け付けた。参加者からの主な質問や意見は以下の通り。

- ・ コロナ禍をきっかけとして、新たな働き方が日常業務として定着した事例
- ・ 在宅勤務が残業を減らすことで収入減となり、社員の意欲低下へつながる懸念はないか
- ・ 労組の組織率が低下している状況で、社員の本音を聞き出す方策は何か
- ・ 経営方針や経営計画に働き方改革を目標に取り入れる場合に何を目標値(KPI)にすべきか
- ・ 中間管理職層の心身の負担が増していることへの対策は何か
- ・ オンライン会議で参加者にビデオオン状態を要請・強制することの是非

4) 委員長より閉会の挨拶

質疑応答の後、菊谷運営委員長が講師に感謝の意を表されるとともに、参加者に対しアンケートへの協力要請を行った（後日メールで発信）。

さらに、次回の監査技術ゼミは9月2日に開催予定の旨案内した後、閉会となった。

以上